平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ５６ ※記入不要	提案機関名	湘南地域農業改良普及センター

要望問題
トマト黄化えそ病（ＴＳＷＶ）の防除対策

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

トマト黄化えそ病は、アザミウマによって媒介されるウイルス病である。平成１４年度から、同じ地域で発生しており、アザミウマ防除方法を中心に対策を行っているが、感染原因が不明である。
感染原因の究明と防除方法の検討をお願いしたい。

対象：藤沢市のトマト生産者 3,000 坪

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所

部　　署：　農業環境部

対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名　（①、②、④の場合）
病害虫の診断・同定及び防除対策の確立
（3）難防除病害虫に対する防除法の確立

対応の内容等
TSWV 等トスポウイルスによる病害の診断・同定に関しましては上記課題にて取り組んでおります。
これまでにいくつかの知見及び防除対策等を成果情報にまとめて参りましたが、その防除対策はまだ不十分であり、来年度以降も継続して、ウイルス病の防除対策を検討する課題を設けて対応いたします。
現地の環境及び栽培状況は個々農家により異なり、発生の状況もそれにともない様々な様相ですので、さらなる詳細な調査を行い個々に対応できる防除対策を検討いたします。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内

備　考